

# 緩和ケアは、その人らしく。

緩和ケアは、がん治療の「終末期」。このように思われるかたが多いのではないのでしょうか。がんと診断された直後から受けることができ、身体的なケアだけでなく様々な悩みを含め心のケアをするのが緩和ケアです。市民病院に緩和ケア病棟（20床）が整備されてから1年が経ちました。温かみのある木目調のフロアで、ファミリーキッチンやラウンジなどご家族とくつろいで過ごせる環境が整っています。ラウンジにはピアノもあり演奏会が開かれることも。抗がん剤治療を受けていない患者さんが対象で、ご家族の介護疲れなど自宅での生活が難しくなった場合や症状のコントロール、在宅療養準備のための一時的な入院も可能です。

二人に一人はがんになる時代。一人ひとりの想いを大切に、患者さんとそのご家族に寄り添って、その人らしい生活を送ることができるようにお手伝いをしています。当院のがん相談支援センターやがんサポート外来にご相談ください。



岡崎市長  
中根 康浩